

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	20	アセスメント表に生活歴や習慣がわかりやすくなる書式の検討。身体面だけでなく精神面での関わり。プラス面からアプローチした内容を盛り込めるように。	職員個々の介護力向上、入居者様個々への関りの強化	アセスメントシートの変更 行ってきたいケア(サービス)の実施 生活機能向上リハへの関りを行う。	6ヶ月
8	2	地域とのつながり、関わりを深めるのに自治会への参加。コロナが終息をしていけば、地域へのアピール、貢献、活動への参加を行って欲しい。面会や買い物といったコロナが落ち着けば対応できる要望はあった。	家族や地域との関わりを深める	コロナが終息すれば、地域への催しや施設内での催しに近隣の方を招待する。近隣のスーパーへの買い物や家族と一緒に外食レクなどの企画を検討している。	12ヶ月
3	33	時代の流れとして7~8割のGHが看取りを行っている。医療体制が整っている施設なので看取りについては今後体制の構築を考えて欲しい。当施設のやむを得ず当施設での生活が困難な状況(経口摂取が出来ない状況)での施設の移動を嫌がられるケースも考えられるので	グループホームでの生活継続に努める。	訪問診療時に医師への相談を行い、できる限り施設での生活継続に努めている。急変時の西の京病院への受け入れ態勢を整えている。	10ヶ月
4	26	停電時の対応(長期間停電になった場合)を改めて取り組んで頂きたい。	非常災害時における業務継続	併設するサ高住と委員会で話し合いを行い、BCPの作成を行っている。	12ヶ月
5	35				ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。